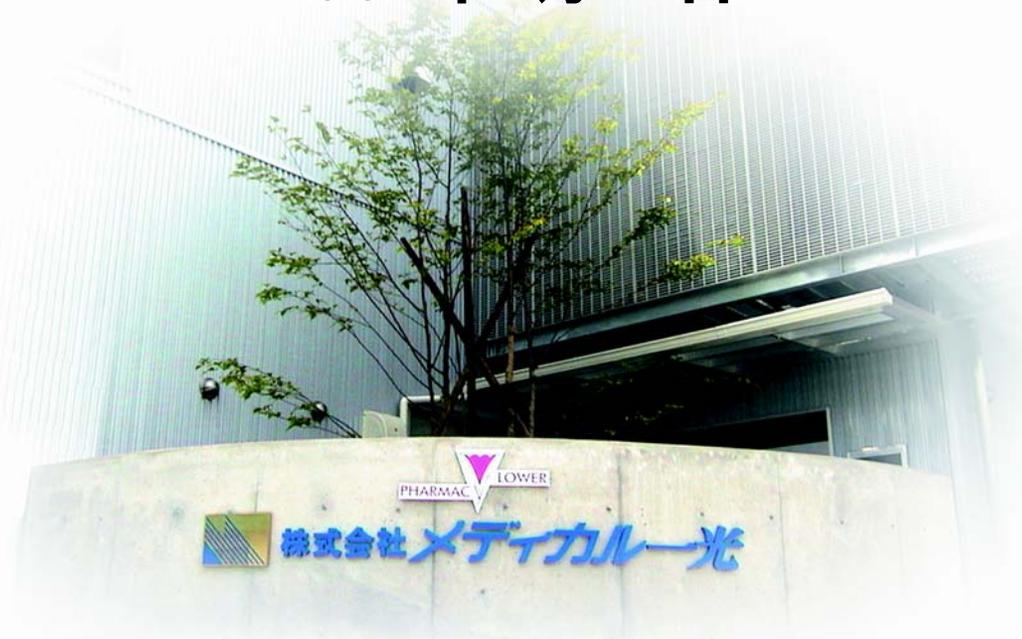


株式会社メディカルー光

2008年2月期 決算説明会

2008年4月17日



代表取締役社長 南野 利久

JASDAQ

(証券コード : 3353)

I. 2008年2月期 決算概要

II. 今後の事業戦略

III. 2008年2月期 業績詳細

■ 連結損益計算書

- 売上高 14,662百万円 ⇒ (前期比 2,300百万円増)
- 経常利益 639百万円 ⇒ (前期比 244百万円増)

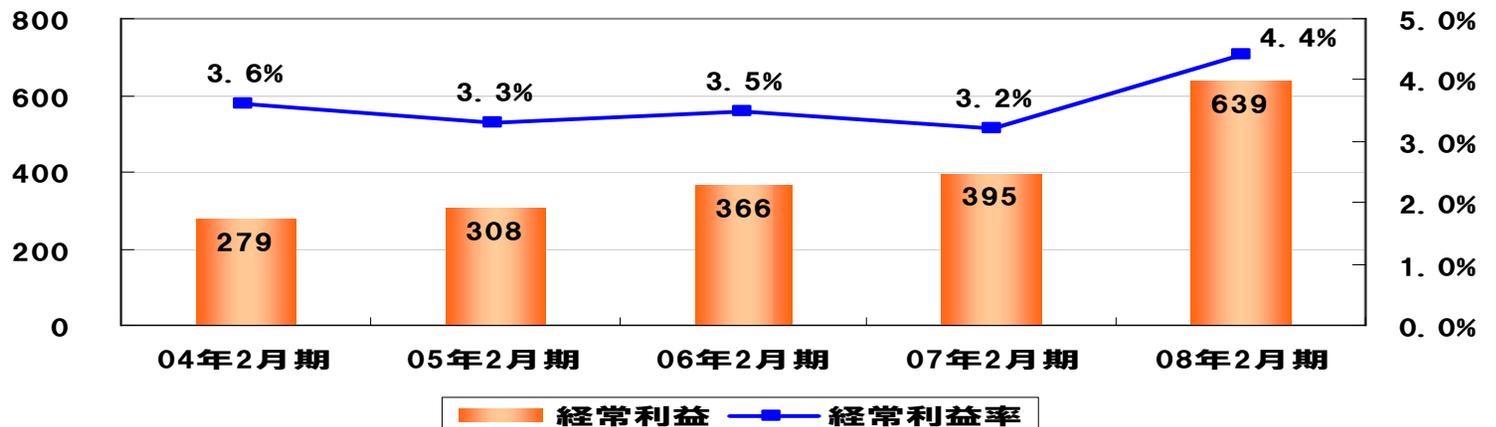
(単位:百万円)

	2007年2月期		2008年2月期		前期比		計画比
		百分比		百分比	増減額	増減率	
売上高	12,362	100.0%	14,662	100.0%	+2,300	18.6%	+64
売上原価	11,232	90.9%	13,128	89.5%	+1,896	16.8%	△109
売上総利益	1,130	9.1%	1,533	10.5%	+403	35.7%	+173
販管費	702	5.7%	821	5.6%	+119	16.9%	+13
営業利益	428	3.5%	712	4.9%	+283	66.3%	+160
経常利益	395	3.2%	639	4.4%	+244	61.7%	+176
当期純利益	46	0.4%	289	2.0%	+243	528.2%	+73

業績推移

(単位:百万円)

	04年2月期	05年2月期	06年2月期	07年2月期	08年2月期
売上高	7,709	9,270	10,557	12,362	14,662
営業利益	336	401	417	428	712
販管費	533	614	650	702	821
(%)	(6.9%)	(6.6%)	(6.2%)	(5.7%)	(5.6%)
経常利益	279	308	366	395	639
(%)	(3.6%)	(3.3%)	(3.5%)	(3.2%)	(4.4%)
当期純利益	129	166	176	46	289
ネット有利子負債	2,187	1,875	1,725	2,512	2,821



■ <連結> セグメント別 (売上高、営業利益)

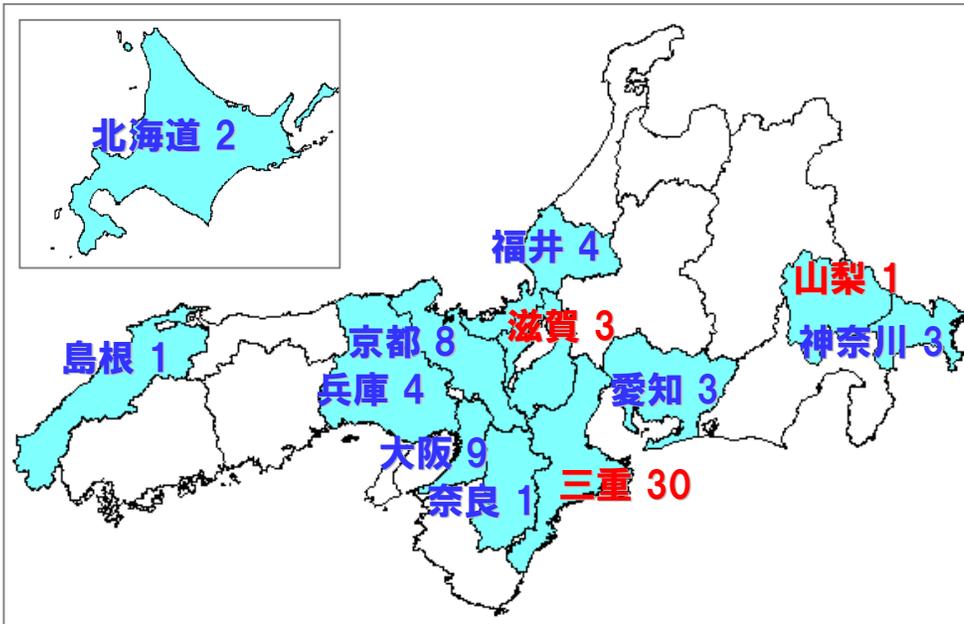
- 売上高 14,662百万円 ⇒ (前期比 2,300百万円増)
- 調剤薬局事業の前期比 ⇒売上高(2,009百万円増)、営業利益(290百万円増)
- 介護事業黒字化 ⇒ 売上高(下半期120百万円)、営業利益(下半期15百万円)

(単位:百万円)

		2007年2月期		2008年2月期		前期比	
			百分比		百分比	増減額	増減率
【売上高合計】		12,362	100.0%	14,662	100.0%	+2,300	18.6%
調剤薬局事業	売上高	11,678	94.5%	13,687	93.4%	+2,009	17.2%
	営業利益	722	86.4%	1,012	88.0%	+290	40.2%
医薬品卸事業	売上高	527	4.3%	567	3.9%	+40	7.6%
	営業利益	24	2.9%	27	2.3%	+3	12.5%
不動産事業	売上高	156	1.3%	201	1.4%	+45	28.8%
	営業利益	90	10.8%	119	10.3%	+29	32.2%
介護事業	売上高	—	0.0%	205	1.4%	+205	—
	営業利益	—	0.0%	△8	—	△8	—

■ 調剤薬局事業

◆ 1道2府9県に69店舗展開



【新規出店】

- ・フラワー薬局 寿店
(三重県桑名市)
- ・フラワー薬局 日野店
(滋賀県蒲生郡)

【M&A】

- ・山梨薬剤センター
(山梨県山梨市)

	07年2月末 店舗数	期中開局		期中閉局	08年2月末 店舗数
		出店	M&A		
病院	38	1	1	0	40
診療所	29	1	0	-1	29
合計	67	2	1	-1	69

■ 調剤薬局事業

(単位:百万円)

	中間期				通 期			
	既存店	M&A	合計	M&A 比率	既存店	M&A	合計	M&A 比率
売上高	5,904 (100.0%)	635 (100.0%)	6,539 (100.0%)	9.7%	11,867 (100.0%)	1,820 (100.0%)	13,687 (100.0%)	13.2%
売上原価	5,456 (92.4%)	528 (83.1%)	5,984 (91.5%)	8.8%	10,883 (91.7%)	1,554 (85.3%)	12,438 (90.8%)	12.4%
売上総利益	446 (7.5%)	106 (16.6%)	553 (8.4%)	19.1%	983 (8.2%)	267 (14.6%)	1,251 (9.1%)	21.3%
営業利益	446 (7.5%)	96 (15.1%)	542 (8.2%)	17.7%	983 (8.2%)	244 (13.4%)	1,227 (8.9%)	19.8%
経常利益	429 (7.2%)	97 (15.2%)	526 (8.0%)	18.4%	949 (7.9%)	242 (13.2%)	1,191 (8.7%)	20.3%

※調剤薬局事業のみ(本社経費除く)

■ 医薬品卸事業

◆ ジェネリック医薬品の使用促進がスタート



【取引先】

沢井製薬株式会社

大洋薬品工業株式会社 他13社

➤ 処方せん様式の再変更

→ 処方増への誘導

➤ 保険薬局及び保険薬剤師

療養担当規則の改定

→ 備蓄・調剤体制の確保

➤ 調剤報酬改定

→ 使用促進に対するインセンティブ

(単位:百万円)

	2008年2月期			前期比	
	上期実績	下期実績	通期実績		
売上高	280	287	567	+40	+7.6%
営業利益	15	12	27	+3	+12.5%

■ 介護事業

◆ 2008年2月期より施設運営を開始



【鳳光苑】（介護付有料老人ホーム）

運営開始日：2007年3月1日～

所在地：島根県簸川郡

居室数：43室

入居率：100%（計画比105%）



【出雲鳳光苑】（高齢者向け優良賃貸住宅）

運営開始日：2007年6月1日～

所在地：島根県出雲市

居室数：30室

入居率：93%（計画比104%）

（単位：百万円）

	2008年2月期			前期比	
	上期実績	下期実績	通期実績		
売上高	84	121	205	+205	-
営業利益	△24	15	△8	△8	-

■ 不動産事業

◆ 医療施設および商業施設を中心とした賃貸



**医療法人財団 公仁会
鹿島病院
(島根県松江市)**



**HISAIメディカルモール
(三重県津市)**

(単位:百万円)

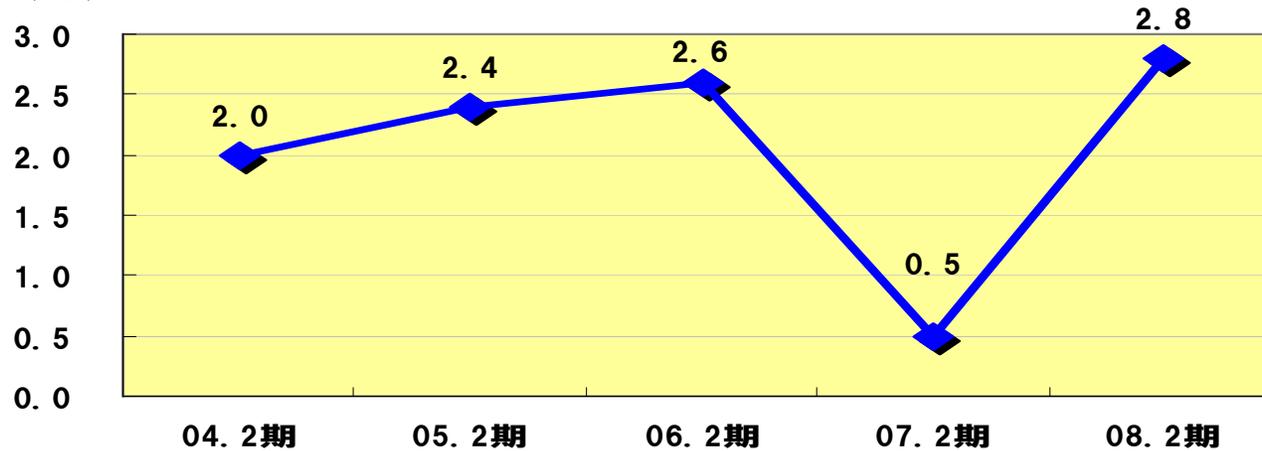
	2008年2月期			前期比	
	上期実績	下期実績	通期実績		
売上高	99	102	201	+45	+28.8%
営業利益	62	56	119	+29	+32.2%

■ 2008年2月期 トピックス

3月	・介護付有料老人ホーム「鳳光苑」（島根県簸川郡）運営開始
4月	・フラワー薬局寿店 開局（三重県桑名市）
5月	・ハウス食品株式会社、イオン株式会社に第三者割当増資
6月	・高齢者向け優良賃貸住宅「出雲鳳光苑」（島根県出雲市）運営開始 ・H I S A I メディカルモール（三重県津市）開業
7月	・株式会社山梨薬剤センター（山梨県山梨市）を子会社化
11月	・フラワー薬局日野店 開局（滋賀県蒲生郡）

■ 財務指標(ROA・ROE)

(%)

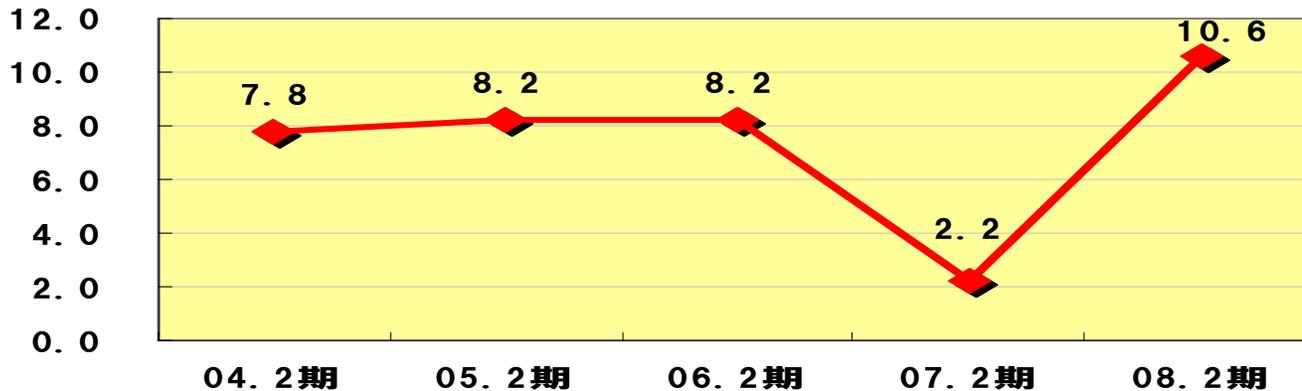


◆ ROA

総資産利益率

当期純利益 / 総資産 × 100

(%)



◆ ROE

株主資本利益率

当期純利益 / 株主資本 × 100

I. 2008年2月期 決算概要

II. 今後の事業戦略

III. 2008年2月期 業績詳細

■ 医薬分業の状況

	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
分業率(%)	34.5	39.5	44.5	48.8	51.6	53.8	54.1	55.8
処方箋枚数 (億枚)	4.55	5.06	5.60	5.84	5.98	6.18	6.45	6.60

○件数・処方箋枚数・調剤点数の状況(2006年度)

	実 数	対前年比
件 数	4億6,585万4,425件	104.0%
処方箋枚数	6億6,083万3,278枚	102.4%
調剤点数	4,521億1,177万1千点	102.8%

(出所:日本薬剤師会)

■ 診療報酬等の改定率の推移

	84年	85年	86年	88年	89年	90年	92年
診療報酬	2.8	3.3	2.3	4.4	0.11	3.7	5.0
薬価等	△5.1	△1.9	△1.5	△2.9	0.65	△2.7	△2.5
診療報酬+薬価等 (ネットの改定率)	△2.3	1.4	0.8	1.5	0.76	1.0	2.5

94年	96年	97年	98年	00年	02年	04年	06年	08年
4.8	3.4	1.7	1.5	1.9	△1.3	±0	△1.36	0.38
△2.12	△2.6	△1.32	△2.8	△1.7	△1.4	△1.0	△1.8	△1.2
2.7	0.8	0.38	△1.3	0.2	△2.7	△1.0	△3.16	△0.82

■ 2008年度 診療報酬改定

全体改定率 $\Delta 0.82\%$

1. 診療報酬改定(本体)

改定率 $+0.38\%$

各科改定率	医科	$+0.42\%$
	歯科	$+0.42\%$
	調剤	$+0.17\%$

2. 薬価改定

改定率 $\Delta 1.2\%$

薬価改定 $\Delta 1.1\%$ (薬価ベース $\Delta 5.2\%$)

材料価格改定 $\Delta 0.1\%$

■ 2008年度 調剤報酬改定のポイント

1. 調剤基本料

- ・処方せん受付回数4000回以下・集中度70%以下 **42点 → 40点**
- ・処方せん受付回数4000回超・集中度70%超 **19点 → 18点**

2. 後発医薬品 調剤体制加算

新設 → 4点

(後発医薬品の調剤率が30%以上)

3. 夜間・休日等加算

新設 → 40点

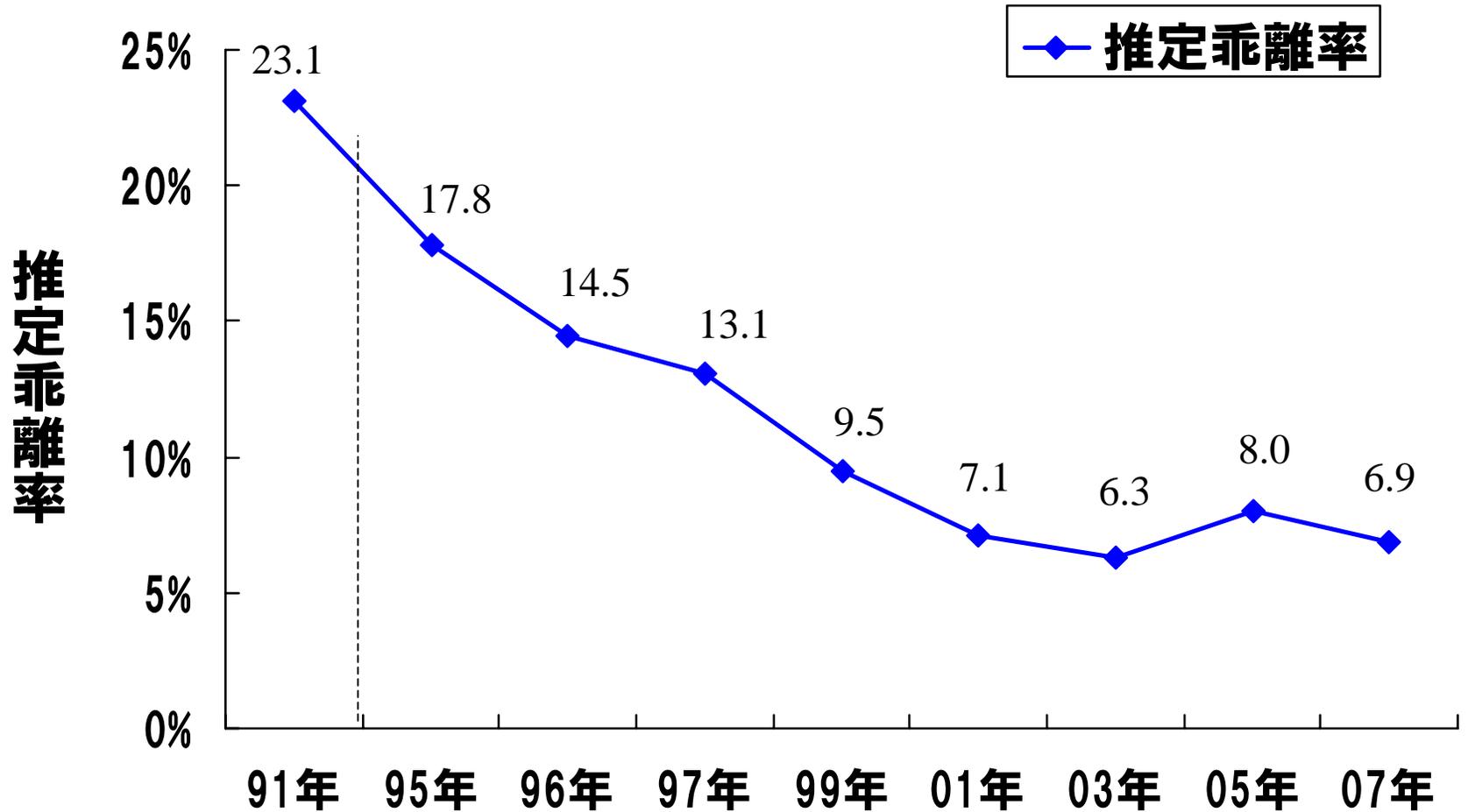
(平日:PM7時~AM8時、土曜:PM1時~AM8時、休日・深夜に常態として開局)

4. 後期高齢者 薬剤服用歴管理指導料

**新設 → 35点
(59点)**

(薬剤服用歴管理指導料(22点)・服薬指導加算(22点)
・薬剤情報提供料(15点)を統合)

■ 薬価差の推移



■ 各国のジェネリック医薬品シェア

◆ 国策として2012年に30%シェアを目標（数量ベース）

国名	ジェネリック医薬品シェア(単位:%)	
	数量	金額
日本(2006年度)	17	5.7
アメリカ(2006年度)	63	13
ドイツ(2006年度)	56	23
イギリス(2006年度)	59	26
フランス(2006年度)	39	16

■ 日米のジェネリック医薬品企業

2006年世界大手の医薬品売上高ランキング

(単位: 百万ドル)

順位	企業名	国名	売上高
1	ファイザー	アメリカ	45,083
2	グラクソ・スミスクライン	イギリス	39,335
3	サノフィ・アベンティス	フランス	37,461
4	ノバルティス	スイス	29,491
5	ロシュ	スイス	27,318
6	アストラゼネカ	イギリス	25,741
7	ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	23,267
8	メルク	アメリカ	22,636
9	ワイス	アメリカ	16,884
10	イーライ・リリー	アメリカ	14,816
11	アムジェン	アメリカ	14,268
12	ブリストル・マイヤーズスクイブ	アメリカ	13,861
13	アボット・ラボラトリーズ	アメリカ	12,395
14	ベーリンガー・インゲルハイム	ドイツ	11,637
15	バイエル・シェーリングファーマ	ドイツ	9,873
16	武田薬品工業 07/03	日本	9,613
17	ジェネンテック	アメリカ	9,284
18	シェリング・プラウ	アメリカ	8,561
19	テバ製薬工業 (+アイボックス)	イスラエル	8,408
20	アステラス製薬 07/03	日本	7,717
21	ノボ・ノルディスク	デンマーク	6,858
22	第一三共 07/03	日本	6,482
23	エーザイ 07/03	日本	5,486
24	メルクKGaA	ドイツ	4,913
25	大塚製薬 07/03	日本	4,840

アメリカにおける医療用医薬品の企業別市場シェア

(数量ベース)

(単位: %)

順位	企業名	市場シェア
※1	テバ製薬工業	11.4
2	ファイザー	7.9
3	ノバルティス	7.6
※4	マイラン・ラボ	6.9
※5	ワトソン製薬	5.6
6	メルク	3.5
7	グラクソ・スミスクライン	3.2
8	アストラゼネカ	3.2
9	マリンクロット製薬 (タイコ)	3.0
※10	アクタビス	2.5

(注) ※は、ジェネリック医薬品メーカー

■ 国内医療用医薬品売上高(06/04~07/03)

先発医薬品製造メーカーの売上高

(単位：億円)

	企業名	06年度売上高
1	武田薬品工業	8,690
2	第一三共	6,678
3	アステラス	4,616
4	ファイザー	3,933
5	中外製薬	3,105
6	エーザイ	2,729
7	ノバルティス	2,481
8	大塚製薬	2,401
9	大日本住友製薬	2,062
10	グラクソ・スミスクライン	2,003

ジェネリック医薬品製造メーカーの売上高

(単位：億円)

	企業名	06年度売上高
1	大洋薬品工業	337
2	沢井製薬	320
3	東和薬品	280
4	日医工	271
5	ニプロファーマ	257

1) 武田、ノバルティス、グラクソは医療用薬の売上高を未公表のため、医療用と一般用の合計

2) 第一三共は連結売上高

■ 開局期別店舗の経常利益推移

(単位:百万円)

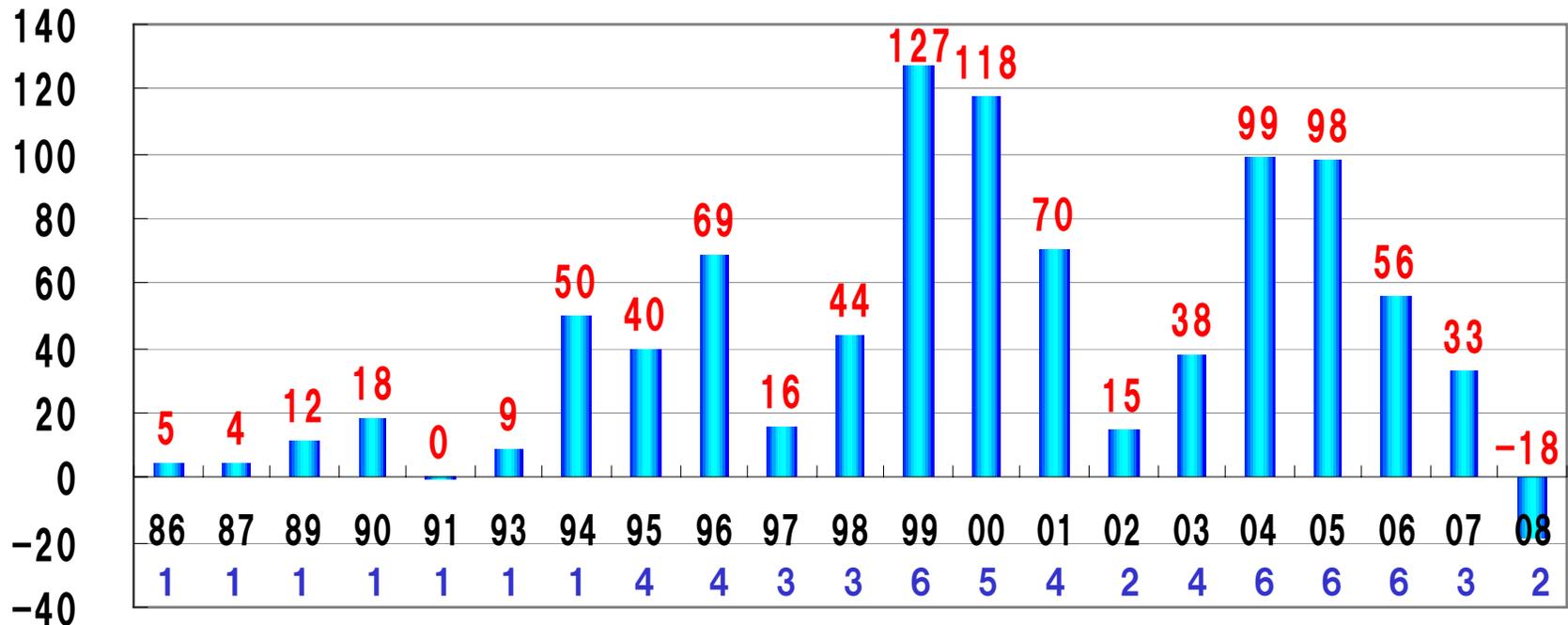
開局期	05年2月期		06年2月期		07年2月期		08年2月期	
	経常利益	構成比	経常利益	構成比	経常利益	構成比	経常利益	構成比
98年2月期以前	309	39.0%	288	36.9%	255	35.6%	267	29.6%
店舗数	23		23		22		21	
99年2月期	359	45.5%	359	45.9%	291	40.6%	315	35.0%
00年2月期								
01年2月期								
店舗数	16		16		15		15	
02年2月期	122	15.5%	134	17.2%	171	23.8%	319	35.4%
03年2月期								
04年2月期								
05年2月期								
06年2月期								
07年2月期	-	-	-	-	-	-	-	-
08年2月期	-	-	-	-	-	-	-	-
店舗数	19		25		27		29	
合計	790	100.0%	781	100.0%	717	100.0%	901	100.0%
店舗数	58		64		64		65	

- 1) 店舗数は期中に閉局した店舗も含む
- 2) 本社経費は除く

■ 開局期別店舗の経常利益推移(2008年2月期)

株式会社 **メディカル一光**

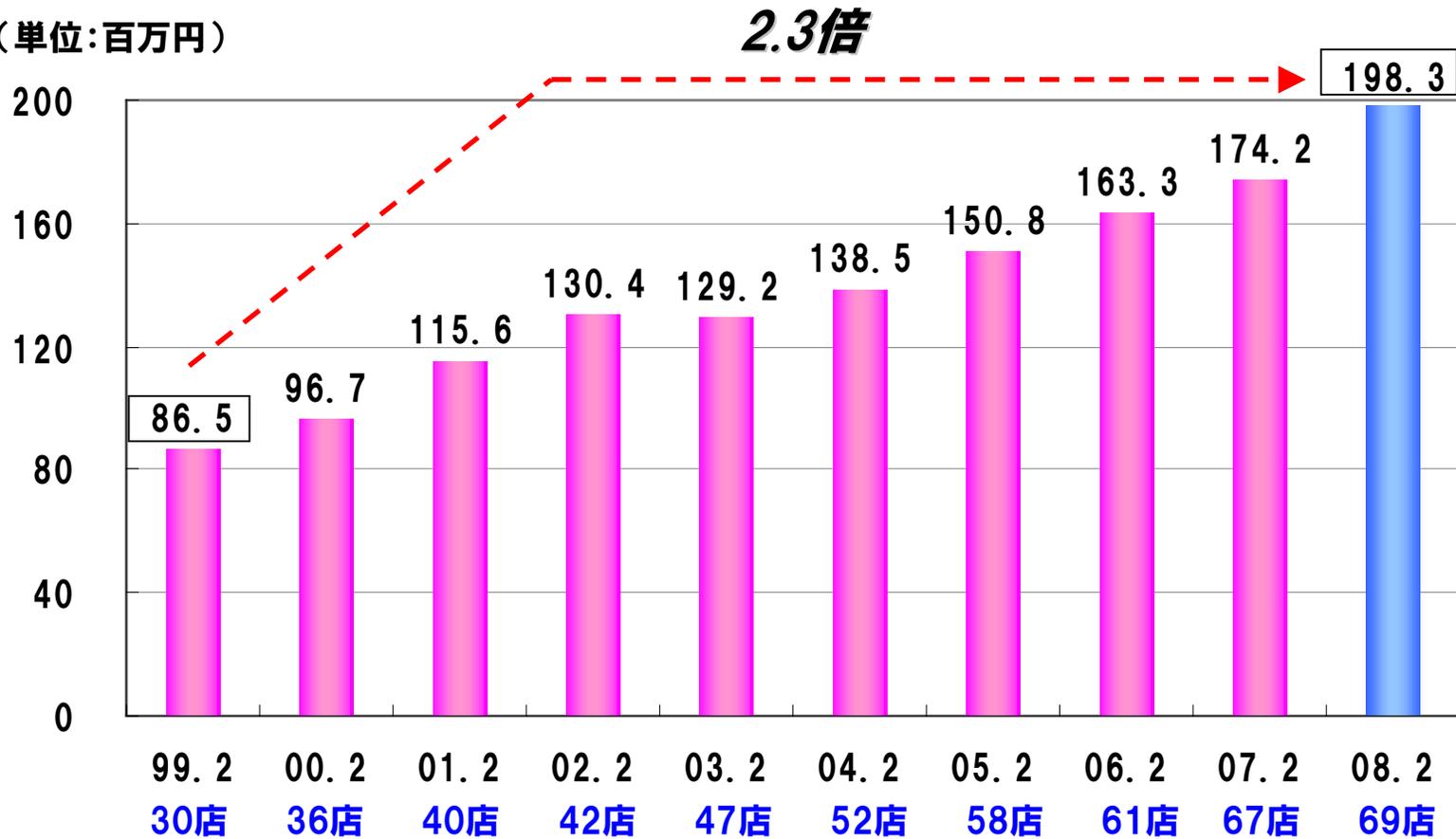
(単位:百万円)



- 1) 経常利益は2008年2月期累計
- 2) 本社経費は除く
- 3) グラフ下の数値は店舗数

■ 調剤薬局 1店舗当たりの年商推移

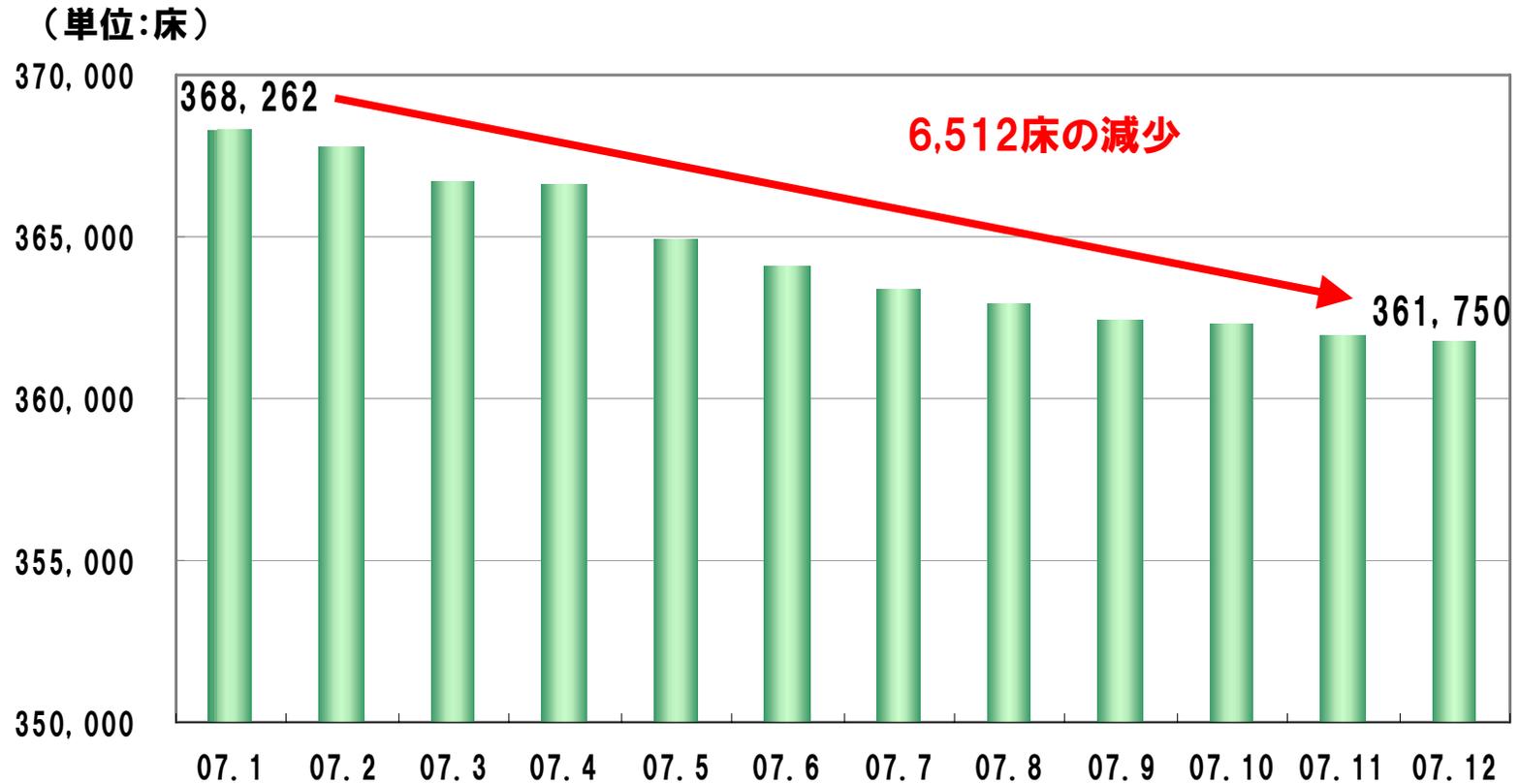
(単位:百万円)



※青字 = 期末店舗数

療養型病床の削減

◆ 国策として2011年に15万床まで削減



(出所:厚生労働省 医療施設動態調査)

■ 介護事業(ハーモニーハウス久居)

◆ 3施設目となる有料老人ホームの開設着手



**ハーモニーハウス久居
完成予定図**

【住 所】:三重県津市久居明神町 【形 態】:住宅型有料老人ホーム 【居室数】:35室

■ 事業戦略

【事業展開の推移】



1. 調剤薬局事業

良質なM&A、事業買収を推進する

2. 医薬品卸事業

市場規模の拡大に併せた販売体制の強化を図る

3. 介護事業

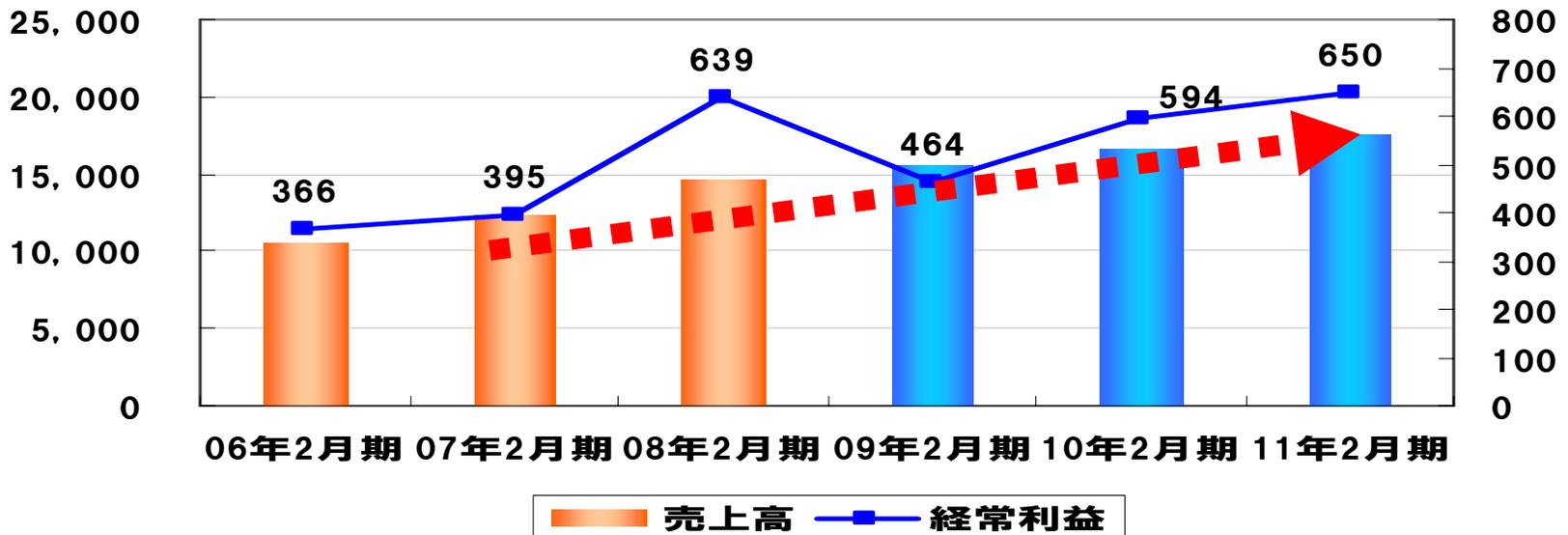
療養型病床の削減に伴い、医療施設の代替となる有料老人ホームを展開する

業績推移と当面の目標計数

◆調剤薬局事業をコア事業として、グループ事業を推進

(単位:百万円)

	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期	11年2月期
売上高	10,557	12,362	14,662	15,621	16,628	17,500
営業利益	417	428	712	565	698	750
経常利益	366	395	639	464	594	650
当期純利益	176	46	289	171	253	325



I. 2008年2月期 決算概要

II. 今後の事業戦略

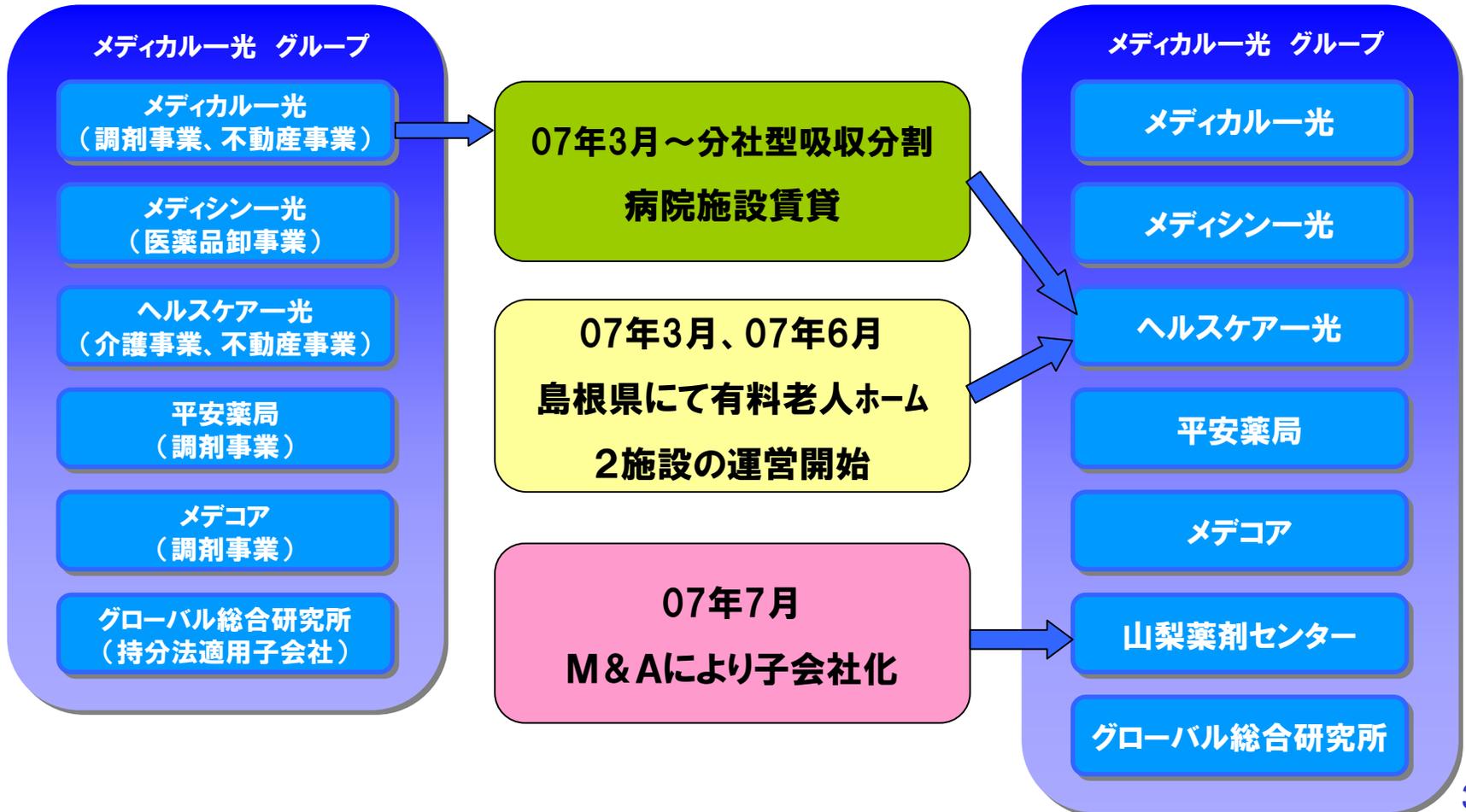
III. 2008年2月期 業績詳細

■ 2008年2月期 連結決算

07年2月期
連結決算



08年2月期
連結決算



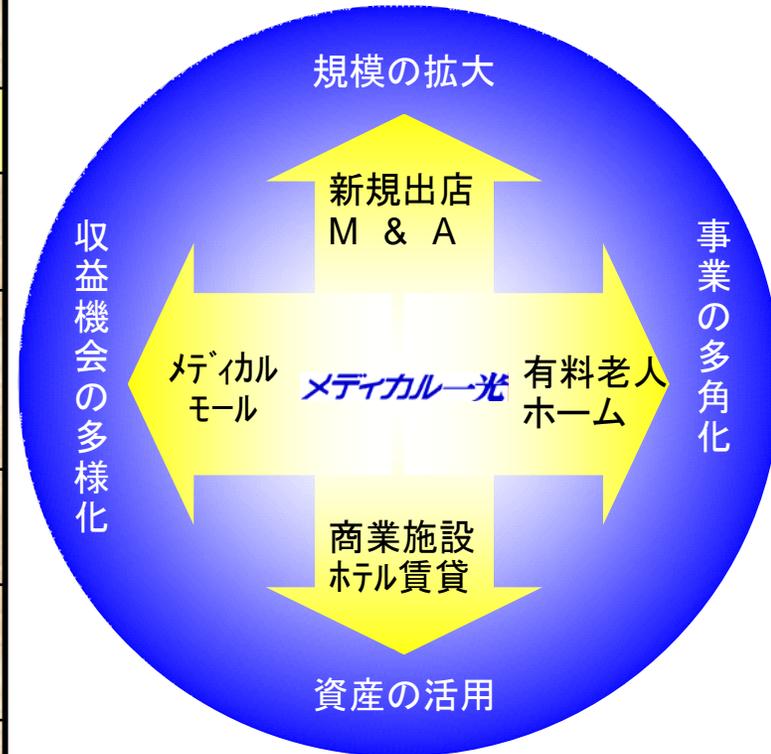
投資案件、事業戦略

◆投資案件

(単位:百万円)

投資内訳		21期投資 (H18.2期)	22期投資 (H19.2期)	23期投資 (H20.2期)	備考
<全体投資額>		452	1,441	1,041	
調剤 薬局 事業	新店舗 等	387	115	55	店舗の開設と 既存店舗の改装等
	M&A	0	707	845	(株)山梨薬剤センター
不動産 事業	土地 活用	2	440	29	不動産購入
新規 事業	介護 事業	63	56	93	鳳光苑、出雲鳳光苑 新規案件
	メディカル モール	0	123	19	久居メディカルモール 3つの医療機関誘致

◆事業戦略



■ <連結>損益計算書 (前期比増減)

- ▶ 売上総利益 前期比 403百万円の増加(前期比35.7%増)
 - ・売上高による増加要因と、売上原価率の低下によるもの
- ▶ 販管費は、のれん償却60百万円を含む。販管比率は前期比減少
- ▶ 経常利益ベースにて、5期連続増収増益

(単位:百万円)

	2007年2月期		2008年2月期		前期比		計画比
		百分比		百分比	増減額	増減率	
売上高	12,362	100.0%	14,662	100.0%	+2,300	18.6%	+64
売上原価	11,232	90.9%	13,128	89.5%	+1,896	16.8%	△109
売上総利益	1,130	9.1%	1,533	10.5%	+403	35.7%	+173
販管費	702	5.7%	821	5.6%	+119	16.9%	+13
営業利益	428	3.5%	712	4.9%	+283	66.3%	+160
経常利益	395	3.2%	639	4.4%	+244	61.7%	+176
当期純利益	46	0.4%	289	2.0%	+243	528.2%	+73

■ (単体)損益計算書 (前期比増減)

- 売上高は、前期比 955百万円増加 (前期比 8.7%増)
 - ・調剤薬局事業の既存店が寄与
- 売上総利益は、売上増加と売上原価率の低下により、164百万円増加

(単位:百万円)

	2007年2月期		2008年2月期		前期比		計画比
		百分比		百分比	増減額	増減率	
売上高合計	10,993	100.0%	11,948	100.0%	+955	8.7%	+12
売上原価	10,129	92.1%	10,921	91.4%	+792	7.8%	△115
売上総利益	863	7.9%	1,027	8.6%	+164	19.0%	+128
販管費	553	5.0%	584	4.9%	+31	5.6%	+12
営業利益	310	2.8%	443	3.7%	+133	42.9%	+116
経常利益	343	3.1%	475	4.0%	+132	38.5%	+144
当期純利益	53	0.5%	243	2.0%	+190	358.5%	+58

■ <連結> 調剤薬局事業売上 (前期比増減)

 株式会社 **メディカル一光**

- 調剤薬局事業売上が前期比 2,009百万円増加 (前期比 17.2%増)
 - ・既存店およびM&A店舗の売上増加が寄与
- 売上総利益は、売上増加と売上原価率の低下により、404百万円増加

(単位:百万円)

	2007年2月期		2008年2月期		前期比		計画比
		百分比		百分比	増減額	増減率	
調剤売上高	11,678	100.0%	13,687	100.0%	+2,009	17.2%	+277
売上原価	10,831	92.7%	12,437	90.8%	+1,607	14.8%	+83
材料費	8,105	69.4%	9,552	69.8%	+1,447	17.9%	+116
労務費	1,903	16.3%	2,091	15.3%	+188	9.9%	+3
設備・諸経費	821	7.0%	794	5.8%	△27	△3.3%	△33
売上総利益	847	7.3%	1,251	9.1%	+404	47.7%	+195

■ <連結> 調剤薬局事業売上（既存店売上）

◆売上高 前期比2,009百万円増（既存店売上高 前期比5.9%増）

【売上高 前期比較】

- 1.既存店売上高 ⇒ 前期比 622百万円の増加（処方箋単価の上昇）
- 2.07/2月期 ⇒ 前期比442百万円の増加（新規店253百万円、M&A189百万円）
- 3.08/2月期 ⇒ 前期比945百万円の増加（新規店154百万円、M&A791百万円）

（単位：百万円）

	07年2月期		08年2月期		前 期 比		計 画 比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高合計	11,678	100.0%	13,687	100.0%	+2,009	17.2%	+581	4.4%
既存店	10,516	90.0%	11,138	81.3%	+622	5.9%	+461	4.3%
07/2期出店	1,162	11.0%	1,604	11.7%	+442	38.0%	+143	9.8%
（うちM&A）	840	7.2%	1,029	7.5%	+189	22.5%	+69	7.2%
08/2期出店	—	—	945	6.9%	+945	—	△23	△2.4%
（うちM&A）	—	—	791	5.7%	+791	—	+17	—
閉局店	0	0.0%	0	—	±0	—	±0	—

■〈連結〉調剤薬局事業売上（長期投薬の影響）

 株式会社 **メディカル一光**

- 薬剤料売上は、前期比 1,792百万円増（薬剤料比率 +2%）
 - ・薬剤料単価は、前期比 +740円
- 技術料等売上は、前期比 217百万円増（単価 前期比 +10円）

（単位：百万円）

	2007年2月期		2008年2月期		前期比		計画比
		百分比		百分比	増減額	増減率	
調剤売上高	11,678	100.0%	13,687	100.0%	+2,009	17.2%	+277
薬剤料	8,815	75.5%	10,607	77.5%	+1,792	20.3%	+269
技術料等	2,863	24.5%	3,080	22.5%	+217	7.6%	+8
売上総利益	847	7.2%	1,251	9.1%	+404	47.7%	+195
処方箋枚数(枚)	1,475,211	—	1,579,021	—	+103,810	7.0%	△1,777
薬剤料単価	5,977	—	6,717	—	+740	12.3%	+179
技術料単価	1,886	—	1,896	—	+10	0.5%	+5

■ <連結> 貸借対照表

◆ M&Aへの投資と第三者割当による新株式発行

(単位:百万円)

	07年2月期		08年2月期		増減額	要因
		構成比		構成比		
流動資産	3,215	38.4%	4,398	42.5%	+1,183	
現預金	1,119	13.4%	1,889	18.2%	+770	現預金 +770
売掛金	1,428	17.0%	1,761	17.0%	+333	調剤売上増加 +333
その他	668	7.9%	747	7.2%	+79	
固定資産	5,165	61.6%	5,947	57.5%	+782	山梨薬剤センター +134
有形固定資産	3,746	44.7%	3,852	37.2%	+106	のれん(山梨)増加 +519
無形固定資産	620	7.4%	1,148	11.1%	+528	ヘルスケア 差入保証金 +43
その他	799	9.5%	946	9.1%	+147	投資有価証券 +90
資産合計	8,380	100.0%	10,345	100.0%	+1,965	
負債合計	6,287	75.0%	7,623	73.7%	+1,336	
流動負債	3,362	40.1%	4,075	39.4%	+713	買掛金増加 +31
固定負債	2,924	34.9%	3,548	34.3%	+624	長短借入金 +1,079
純資産合計	2,093	25.0%	2,721	26.3%	+628	増資 +360
負債・純資産合計	8,380	100.0%	10,345	100.0%	+1,965	

■ 財務指標（連結キャッシュフロー計算書）

◆ M&Aによる投資により、5期連続増収増益(経常利益ベース)

(単位：百万円)

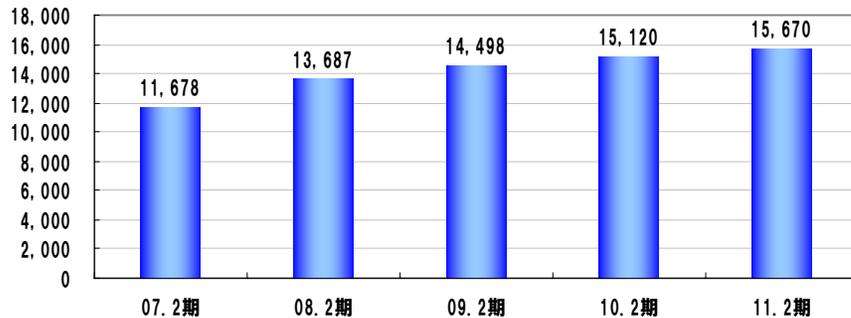
	07年 2月期	08年 2月期	増減額	増減要因
営業活動による キャッシュフロー	515	350	△165	税金等調整前純利益 +599 減価償却費 +174 のれん償却 +60 売上債権 △150 仕入債務 △183 法人税 △239
投資活動による キャッシュフロー	△1,215	△927	288	有形固定資産の取得 △145 投資有価証券の取得 △83 子会社株式の取得 △300 子会社への貸付 △401 差入保証金の預け入れ △89
財務活動による キャッシュフロー	1,033	1,327	294	長期借入金増加 +1,080 第三者割当増資 +357 配当金 △109
現金等の増加額	333	750	417	現金等の増加 +750
現金等の期首残高	773	1,118	345	
現金等の期末残高	1,118	1,868	750	

■ <連結> 中期セグメント別 (計画)

- ◆ 調剤薬局事業は、採算性を考慮しM&Aを含めた拡大を図る
- ◆ 介護事業は、中長期的な視野に立ち将来の中心事業に位置づけ

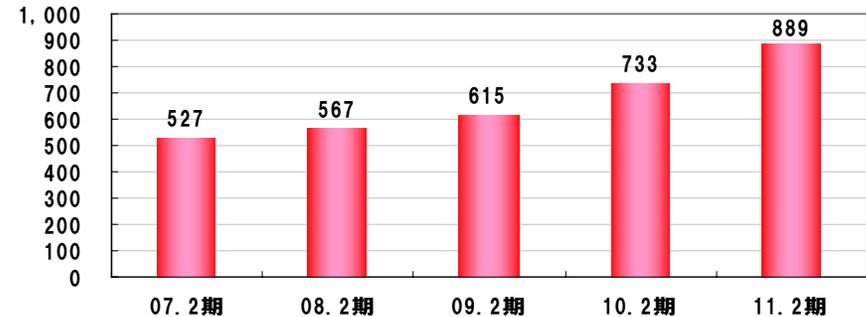
調剤薬局事業

(単位：百万円)



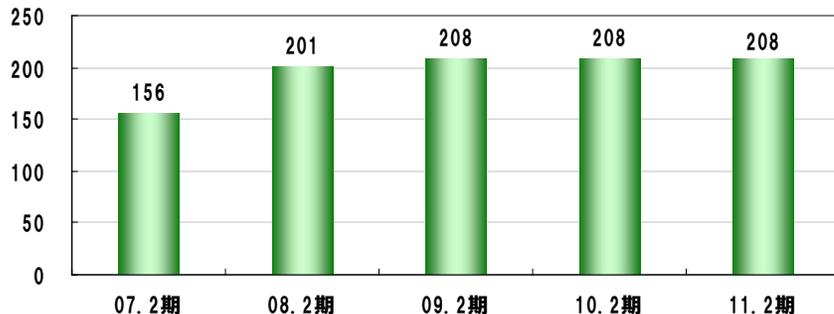
医薬品卸事業

(単位：百万円)



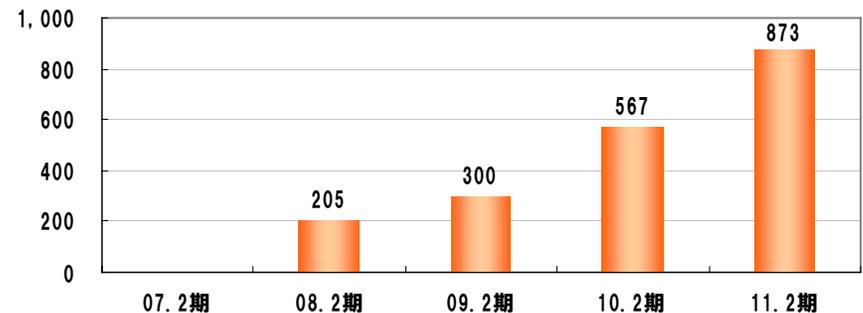
不動産事業

(単位：百万円)



介護事業

(単位：百万円)



■ お問い合わせ先

株式会社メディカル一光 IR担当

電話:059-226-1193(代表)

FAX:059-227-6107

E-mail:ir@m-ikkou.co.jp

URL:http://www.m-ikkou.co.jp